

「普通に存在している以上の状態」に到達するために



商学部長
渡辺 岳夫
Takeo WATANABE

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。商学部の教職員を代表して、皆さんにお祝いの言葉を申し上げますとともに、皆さんが中央大学商学部の学生となられたことを心より歓迎いたします。

さて、あなたは普段の生活のなかで、どれだけ「普通に存在している以上の状態」に到達したことがあるでしょうか？「それってどんな状態？」という声が聞こえてきそうですね。簡単にいえば、それは時間が経つのも忘れるくらい何かに熱中・没入している状態のことです。趣味の好きな何かや学校の部活をしている時、あるいは勉強(!?)をしている時に、そんな状態を経験したことがある人もいないのでしょうか。経験者に尋ねます。あとから考えてみて、そんな状態に到達したときの気分はいかがでしたか？

多くの心理学者が、その状態を「存在の本質的状态(a state of being)」と呼び、人が精神を健康に維持するうえでとても大事なことでありと指摘していますが、中にはそういった状態を経験できない人生は人生ではない、とすら言う人もいます。もちろん、何かを経験することによって得られる「結果」も大事でしょう。例えば、部活の試合で「普通に存在している以上の状態」に到達し、そして結果として試合に勝ったこと、また、絵を描いている時にそんな状態になったとして、完成した絵の出来栄がとても良くて周囲から褒められたことなど、それらの「結果」も確かに努力したこと「しるし」として意味はあるでしょう。でも、それよりもずっと大事なのはやはり、何かに熱中して時を忘れるような、そんな状態に達することそれ自体なのです。

では、そうなるために求められることは何でしょう。最も大事なことは、とにかく熱中できる対象を見つけることです。大学生活は、誤解を恐れずに言えば、自分が生涯をかけて熱中して取り組むことのできる何かを見つけるための「旅」です。一か所に長く滞在する旅もあれば、限られた期間の中で多くの場所を訪れる旅もあります。あなたは、あなたなりの旅をして、自分の生涯の「宝物」を見つけてください。

熱中できる対象を見つけたら、それに熟達するプロセスで必要な知識やスキルを身につけなければなりません。優秀な外科医は手術中、必要な手順やスキルをほとんど意識せずに行き、局面に没入しつつオペを遂行するそうですが、それを可能にするのは、実は豊富な知識や経験を伴ったスキルなのです。あなた方も、あることについて段々上手になっていくにつれ(つまりスキルが伴うようになってきて)、どんどん楽しくなり、集中できるようになった、という経験があるのではないでしょうか。熱中するのにも必要な条件があるのです。

あなた方がその条件をクリアすることができるよう、中央大学の教職員は精一杯応援します。大事な宝物を見つけ、それに熟達するための楽しい旅に、一緒に出発しましょう！



理工学部長
檜山 和男
Kazuo KASHIYAMA

理工学部にご入学の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは、理工学部に入學され、いよいよ専門の勉強を開始するという胸を躍らせていることと拝察しますが、入学に際して、皆さんに一つお願いがあります。それは、皆さんが選んだ学科に関連して、将来の人生設計をまずは簡単でも良いので描いていただきたいということです。この設計のことをキャリアデザインといいます。これは自分自身の将来の職業や人生について、自らが主体となって構想し、実現していくことを意味します。これまでの学生指導の経験上、このキャリアデザインをしっかりと描くことが、その後の学生生活を充実させ、また最終的に第一希望の職種・職場への就職を実現する上で大変重要となります。

また、理工系の実学分野は要求される技術レベルがかなり高く、学部で学ぶ内容のみでは十分に対応することが難しいため、一般に理工系の学生の多くは大学院に進学しています。是非、皆さんも理工系の実学分野を牽引する人材になるために、大学院への進学を志していただきたいと思います。

さて皆さんは、そもそも大学が生まれた経緯をご存知でしょうか？それは、社会的背景として、中世のヨーロッパの都市部において職業の選択の自由が与えられたことに大きく起因しています。それまでは、職業は世襲制でしたが、職業の選択の自由が与えられたことを契機として、職人や商人を養成することから始まり、次第に一般の学問を教えるようになったと言われていきます。まさに、キャリアデザインを行うために生まれたわけで、大学に入學される今こそ、この点についても知っていただきたいと思います。

最後になりますが、理工学部のある後樂園キャンパスはかつて“水戸の黄門様”が住んでおられた水戸藩上屋敷の跡地にあり、大学の周囲には特別史跡・特別名勝の後樂園や徳川家の菩提寺である伝通院、文京区ゆかりの文豪の旧居跡など名所・旧跡なども多数あります。是非、勉学の合間などに訪れて周辺地域の環境の良さを実感していただくとともに、歴史や文化についても関心を持っていただきたいと思います。

キャリアデザインを描こう！